

研究課題 内視鏡的胆管内自己拡張型金属ステント (SEMS) 留置後の内視鏡的抜去試行例についての多施設共同後方視的症例集積研究 **に関する情報公開**

1. 研究の対象

平成24年1月から平成28年12月までの期間に名古屋大学医学部附属病院消化器内科に入院され、胆管狭窄に対して胆管内にSEMSを留置された後、抜去を試みられた方が全員対象となります。

2. 研究目的・方法・研究期間

良・悪性胆道狭窄に伴う閉塞性黄疸に対しては内視鏡的（経乳頭的）に狭窄部に対して胆道ドレナージ術といったステント（プラスチック製あるいは金属製）を留置して胆汁の流れを確保する手技が広く行われています。

近年では良・悪性や狭窄部位を問わず、自己拡張型金属ステント（SEMS）を留置する機会が多くなっています。SEMSはカバー付き（CSEMS）とカバー無し（USEMS）の2種類に大別されています。

CSEMSは胆管のおおよそ半分より下側の遠位（中下部）胆管狭窄に対して第一選択として用いられます。また、最近では、内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）といった結石等を取り出す際に胆管の出口である十二指腸乳頭部を切開して開口部を大きくする際の合併症として出血が挙げられますが、止血困難な場合は出血部位を圧迫する目的にCSEMSが用いられるようになってきました。遠位胆管狭窄に対するCSEMS留置後の閉塞に対しては、閉塞したCSEMSに新たなCSEMSを被せて留置するより、留置していたCSEMSを抜去した後に新たなCSEMSを留置した方がその後の開存期間が長いことが報告されています。また、良性胆道狭窄に対して、一般的に用いられているプラスチックステントを繰り返して留置せざるを得ない難治例に対してもCSEMSが用いられています。CSEMSはプラスチックステントよりも大口径であること、抜去可能であること、などより、その有用性が報告されています。EST後の出血に対してCSEMSを留置した場合は胆管狭窄を合併していない限りは数日以内に抜去を行います。

一方で、USEMSはCSEMSと比較して抜去困難とされるため、悪性のみにその留置の適応があります。肝内胆管の細かな枝を塞がないよう、左右の胆管が合流する（悪性）肝門部領域胆管閉塞に対して留置されます。

SEMSは素材、外径、長さ、などが工夫され、各社より製品化されています。医師や施設事情によって使い分けされているのが現状であり、各種製品についての抜去の実態については明らかとはなっていません。

以上から、本研究はCSEMS留置後の抜去の実態を探索するために、日本国内の多施設が協力して大規模データ集計への登録を行うことを計画させていただきました。

対象となる方のカルテ情報から、患者さんの基本情報（年齢、性別、診断名）、狭窄部位（肝門部領域胆管あるいは遠位胆管）、留置状況（切除可能・切除不能・切除境界・不明、良性）、狭

窄長、留置ステント（種類、留置径、留置長）、留置期間、抜去成功の可否、抜去理由、抜去に用いた各種処置具、抜去による偶発症、追加処置、を利用させて頂き、これらの情報をもとに、1) 狭窄部位別の SEMS 抜去成功率の差異、2) 留置状況別の SEMS 抜去成功率の差異、3) SEMS の種類別の抜去成功率の差異、4) 留置期間別の抜去成功率の差異（1 ヶ月以内、1～3 か月以内、3～6 ヶ月以内、6～12 ヶ月以内、12 か月以降）、5) 使用した抜去処置具別の成功率の差異、6) 抜去に要した時間の差異（1 ヶ月以内、1～3 か月以内、3～6 ヶ月以内、6～12 ヶ月以内、12 か月以降）、7) 抜去に伴う偶発症（重症度についても調査を行います）を抽出後に解析し、SEMS 抜去成功率の比較を検討させていただきます。

これらの個人情報が出ることのないように、患者個人を特定できないようにコード化した後に、大規模データ集計に登録します。

この研究では、上述の情報を本学以外の全国の参加施設より宮崎大学へ提供し集計します。また結果の統計処理のため本学以外の下記研究機関へ、匿名化した情報の提供を行います。匿名化することで、提供先の研究機関が、誰の情報であるかを特定することは、非常に難しい（あるいは不可能な）状態に加工しております。

・本学における情報の管理責任者：川嶋啓揮・消化器内科学・講師

提供先機関名・所在地：

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学分野

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1

3. 研究に用いる試料・情報の種類

提供情報試料：上述の情報

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

● 本学の研究実施体制

名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

廣岡芳樹・准教授

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

川嶋啓揮・講師

大野栄三郎・助教

石川卓哉・病院助教

須原寛樹・病院助教

竹山友章・医員

小屋敏也・医員

田中浩敬・医員

酒井大輔・医師

西尾亮・医師

鈴木博貴・医師

● 本学以外の参加施設の名称と施設責任者の氏名と職位

1. 順天堂大学 消化器内科 伊佐山浩通・先任准教授
2. 手稲溪仁会病院 消化器病センター 潟沼朗生・副部長
3. 北海道大学病院 光学医療診療部 桑谷将城・助教
4. 伊達赤十字病院 消化器科 久居弘幸・部長（副院長）
5. 東北大学 消化器内科 菅野敦・講師
6. 仙台市医療センター 消化管・肝胆膵内科 伊藤啓・部長
7. 仙台厚生病院 消化器内科 奥菌徹・医長
8. 福島県立医科大学 消化器内科 高木忠之・講師
9. 自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 横山建介・臨床助教
10. 埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科 松原三郎・准教授
11. 千葉大学医学部附属病院 光学医療診療部 杉山晴俊・助教
12. 亀田総合病院 消化器内科 中路聡・部長
13. がん研有明病院 肝胆膵内科 笹平直樹・部長
14. 東京大学 消化器内科 中井陽介・助教
15. 関東中央病院 消化器内科 外川修
16. 東京医科大学 消化器内科 糸井隆夫・教授
17. 東邦大学医療センター大森病院 消化器センター内科 岡野直樹・助教
18. 東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科 前谷容・教授
19. 帝京大学附属溝口病院 消化器内科 安田一朗・教授
20. 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 中原一有・診療講師
21. 横浜市立大学 市民総合医療センター 消化器内科 杉森一哉・助教
22. 新潟県立がんセンター新潟病院 内科：消化器 塩路和彦・部長
23. 富山県立中央病院 内科（消化器） 松田耕一郎・部長
24. 山梨大学 第一内科 深澤光晴・特任講師
25. JA長野厚生連 佐久医療センター 消化器内科 比佐岳史・部長
26. 岐阜大学 第一内科 岩下拓司・臨床講師
27. 岐阜市民病院 消化器内科 向井強・副部長
28. 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 石渡裕俊・医長
29. 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 川嶋啓揮・講師
30. 愛知県がんセンター中央病院 消化器内科 原和生・部長

31. 名古屋市立大学 消化器・代謝内科学 内藤格・助教
32. 三重大学 消化器・肝臓内科 井上宏之・助教
33. 京都大学 消化器内科 児玉裕三・助教
34. 大阪医科大学 第二内科 小倉健・准講師
35. 近畿大学 医学部 消化器内科 竹中完・講師
36. 北野病院 消化器内科 栗田亮・副部長
37. 神戸大学 消化器内科 塩見英之・助教
38. 北播磨総合医療センター 消化器内科 佐貫毅・部長
39. 奈良県立医科大学 内科学第三講座 北川洸
40. 鳥取赤十字病院 内科 後藤大輔
41. 島根大学 腫瘍センター 森山一郎・講師
42. 倉敷中央病院 消化器内科 石田悦嗣・部長
43. 広島大学 消化器・代謝内科 芹川正浩・診療講師
44. 山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学 戒能聖治・准教授
45. 久留米大学 消化器内科 岡部義信・准教授
46. 熊本大学 消化器内科 階子俊平・助教
47. 熊本赤十字病院 消化器内科 浦田孝弘
48. 鹿児島大学 消化器疾患・生活習慣病学分野 橋元慎一・助教

統計：東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学分野

大庭幸治・准教授

- プロジェクト全体の統括責任者の氏名・所属・職位
河上 洋・宮崎大学医学部医学科 消化器内科学講座・教授

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出て下さい。また、参加拒否をしたい場合は平成30年3月31日までに申し出て下さい。

この研究の参加は、研究対象者の自由意思によるものであり、研究対象者から研究への参加辞退の申し出があった場合は、それまでの情報を原則破棄します。ただし、研究対象者の同意を得ることができれば、それまでの情報はそのまま使用することとします。また、学会等で公表後は、結果から削除できないことがあります。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 講師 川嶋啓揮

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

Tel:052-744-2602

研究代表者：

宮崎大学医学部附属病院 消化器内科 教授 河上 洋

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200 番地

Tel : 0985-85-9797

FAX : 0985-85-9802